

- 問1 鎌倉時代の武士社会において、将軍と御家人の結びつきを支えた「御恩」の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること
 2. 御家人が将軍に対して、戦時に命をかけて軍役に果たすこと
 3. 御家人が将軍に対して、京都や鎌倉の警護を行うこと
 4. 将軍が御家人に対し、年貢の徴収や警察権を全国規模で代行させること
- 問2 鎌倉時代に関する歴史年表において、幕府が鎌倉と京都を結ぶ道路を整備した記述が見られます。その後、13世紀後半になると、鎌倉幕府が迅速な通信連絡を確保するために、この「駅制（えきせい）」を九州地方まで延長する要因となった出来事はどれですか。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. 奥州藤原氏の征服
 2. 元軍による襲来
 3. 保元の乱の発生
 4. 応仁の乱の勃発
- 問3 鎌倉時代に大陸から伝来した禅宗が、当時の政治の担い手であった武士の間に広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に合っていたから。
 2. 大規模な寺院を建立することで、領地を治める武士の権威を農民に示すのに最も都合が良かったから。
 3. 和歌や蹴鞠といった公家文化を否定し、武士独自の新しい娯楽を提供することに主眼を置いていたから。
 4. 念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けるという簡潔な教えが、文字の読み書きに慣れていない多くの武士に歓迎されたから。
- 問4 平安時代末期から鎌倉時代にかけての日本の経済状況において、土地売買や年貢の支払いにおいて貨幣が利用される割合が急増した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 中国の宋から大量の銅銭が輸入され、国内の通貨として広く流通したため
 2. 日本国内で大規模な銅山が次々と発見され、政府が独自の貨幣を大量に铸造したため
 3. 西欧諸国との貿易が始まり、銀を中心とした国際的な決済システムが導入されたため
 4. 幕府が物々交換を法律で禁止し、すべての取引を紙幣で行うよう強制したため
- 問5 鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などに基づき、正しい内容を選びなさい。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。
 2. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。
 3. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。
 4. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。
- 問6 鎌倉時代後半に登場した「悪党」と呼ばれる勢力について、その行動や背景として正しい説明はどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 荘園領主の権威を借りて、農民から不当に多くの年貢を取り立てる幕府役人であった。
 2. 天皇の命令を受けて、九州沿岸の警備を専門に行う軍事組織となった。
 3. 武力を背景に年貢の納入を拒むなど、荘園領主や幕府の支配に対抗した。
 4. 幕府の命令に従い、モンゴルの襲来に備えて石築地を築いた武士団であった。
- 問7 1281年の弘安の役において、元軍の日本上陸を困難にし、最終的に撤退へと追い込んだ大きな要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 鉄砲の集団斉射と、籠城作戦による食料不足
 2. 博多湾沿岸に築かれた防壁と、海上での暴風雨
 3. 瀬戸内海の村上水軍と、内陸でのゲリラ戦
 4. 平安京の防衛線と、冬の厳しい寒波
- 問8 鎌倉時代の1232年、第3代執権の北条泰時が制定した、武士の慣習や裁判の基準をまとめたわが国最初の武家独自の法典を選びなさい。（2024年 香川県公立入試 類似）
1. 建武の新政
 2. 徳政令
 3. 十七条の憲法
 4. 御成敗式目
- 問9 鎌倉時代の文化に関する記述において、東大寺南大門の左右に配置されている巨大な木像を指し、運慶や快慶らを中心とする仏師たちが短期間で完成させたとされる、力強い写実的な彫刻作品の名称を答えなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 阿弥陀如来像
 2. 金剛力士像
 3. 弥勒菩薩像
 4. 釈迦如来像
- 問10 鎌倉時代に広まった臨済宗などの禅宗が、特に武士階級の間で広く受け入れられた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 三重県公立入試 類似）
1. 南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救われるという教えが、団結を重んじる武士の気風に合ったため
 2. 阿弥陀如来を信じて念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士に好まれたため
 3. 加持祈祷によって現世の利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の安定に不可欠だったため
 4. 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため
- 問11 平安時代末期、白河上皇が天皇の位を譲った後も「上皇」として政治の実権を握り、藤原氏による摂関政治を抑えて独自の政治を展開した仕組みを何といいますか。（2025年 山口県公立入試 類似）
1. 院政
 2. 親政
 3. 武家政治
 4. 執権政治
- 問12 1185年の壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした後の時期から、1192年に源頼朝が征夷大将軍に就任するまでの政治状況について述べた文として、正しいものはどれですか。追討の対象となった人物と、設置された役職に注目して選びなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）
1. 朝廷の勢力を抑えるために後白河法皇を幽閉し、地方の有力な御家人をすべて京都へ集めて警護にあたらせた。
 2. 対立した弟の源義経を捕らえることを名目に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置した。
 3. 平氏の残党である平清盛の一族を掃討することを名目に、国ごとに国司を、郡ごとに郡司を再配置した。
 4. 執権の北条時政を討伐することを名目に、東国の荘園に限定して地頭を置き、幕府独自の徴税を強化した。
- 問13 平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡した後、源頼朝は関東を本拠地として武家政権の確立を進めました。頼朝が平氏討伐に協力した弟の義経を追放した際、義経をかくまったことを理由に軍を送り込み、平泉を拠点としていた勢力を滅ぼした出来事を何といいますか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 元寇への対応
 2. 承久の乱の鎮圧
 3. 奥州藤原氏の征伐
 4. 島原の乱の鎮圧